

地域データ分析システム整備・運用業務における受託者の選定に係る公募型プロポーザルの結果について、次のとおり公表する。

令和4年12月21日

赤磐市長 友 實 武 則

1 事業者から企画提案があり、令和4年12月19日に開催した地域データ分析システム整備・運用業務に係るプロポーザル選定審査会において、企画提案書及びプレゼンテーションにより審査を行い、次の者を受託候補者として選定した。

- 1 業務名 地域データ分析システム整備・運用業務
- 2 業務概要 市が所有するデータを積極的に活用し、より効果的な事業計画及び評価の実施に寄与するために、EBPM (Evidence Based Policy Making) を推進することで、住民サービスの質の向上や行政サービスにおける生産性の向上、職員の政策形成の力の向上を目指しており、そのために必要な地域データを分析するシステムを整備・運用する。
- 3 履行期間 契約締結日から令和5年3月31日まで
- 4 受託候補者 東京都中央区日本橋茅場町2-2-1 東石ビル
株式会社ビーコンラーニングサービス
- 5 参加者及び審査結果

参加者 (五十音順)	株式会社ビーコンラーニングサービス
---------------	-------------------

得点 (点数順)	613点
-------------	------

- 6 総 評 選定した事業者(株式会社ビーコンラーニングサービス)は、同様のシステムの導入実績も豊富であり、セキュリティ面や運用面などで広い知見もあることから、本市にとって有益なシステムの導入が可能であると考えられ、加えて導入後本システムを活用した政策形成につなげていくための研修の内容、進め方などについても豊富なメニューがあり、フォロー体制が整備されている提案であった。参加事業者は1者であるが、審査員6名の点数の平均が100点以上であり採用とする。

今後、選定した受託候補者と提案内容を基本にすべての内容を精査し、必要に応じて仕様内容の修正を行うなど、契約締結に向けた協議を行う。